

令和2年度「しゃがむ土偶ドキドキ事業～ドッキ土器ふくしまプロジェクト～」一覧

弾	事業名	会期	場所	事業内容
1	このポーズで一言	4月～10月	—	しゃがむ土偶の特徴的なポーズの写真に合う「一言」を募集しました。募集した「一言」は、SNSで発信しました。
2	どぐうちゃんずぬりえ	5月～10月	—	福島市内の遺跡から出土した土偶の顔をイラスト化しぬり絵にしました。みなさんの作品を募集し、活用を図りました。
3	ふくしまドキドキみつけ隊	8月～10月	福島市役所内 観光名所 ほか	「わたし3500年前に生まれたので、何も知らないの」そんなしゃがむ土偶が、自らリポーターとなり、市政の重点事業や、観光名所、特産物などふくしまのドキドキするものを見つけ、発信しました。
4	ドキドキじょうもん商店街	8月～11月	文化通り、並木通り、パセオ通りなど	福島市内の商店街12店舗にしゃがむ土偶レプリカや「ほんものの土器」を展示するプロジェクト。街角でのおもいかけない「ほんもの」との出会いを提供しました。商店街と協働で、スタンプラリーも開催しました。
5	ドキドキタペストリー	—	福島市役所内	しゃがむ土偶の大型タペストリーを製作し、福島市役所内に掲示中です。
6	ドキドキグッズ	—	じょーもびあ宮畑	新しいグッズを制作中。じょーもびあ宮畑で販売予定です。
7	ドキドキフォトフレーム	—	じょーもびあ宮畑	じょーもびあ宮畑でアイコンを探し、マーカーをかざすとフォトフレームで撮影ができる。(全5フレーム)スタンプラリーを開催し、5フレームコンプリートした人に景品。
8	縄文土偶ドキドキ女子会	9月13日(日)	コラッセふくしま 3階企画展示室	縄文ブームの火付け役となった譽田亜紀子さんと、岩手県文化振興財団埋蔵文化財センターの八木勝枝さんと福島市長の「ドキドキする対談」をリモートで開催しました。対談後はワークショップも実施しました。ギャラリー参加者を募集し、皆さんには土器でドリンクを提供しました。
9	～土偶の世界～集結！国宝レプリカ5体と福島の土偶展	10月9日(金)～12月14日(月)	じょーもびあ宮畑	国宝5体のレプリカ及び、福島県内の土偶や土器を展示しました。
10	ドキドキ土偶対談&縄文時代劇	10月24日(土)	パルセいいざか	長野県茅野市長×福島市長×岡村道雄氏の3名による対談と、劇団120YENによる縄文時代劇を実施しました。
11	愛称募集	10月24日(土)～ 令和3年1月31日(日)	—	通称「しゃがむ土偶」の愛称(ニックネーム)を全国的に募集しました。決定した愛称「しゃがむ土偶 ぴ～ぐ～」は様々な場面で活用していきます。